

# みやざき県 障害者社会参加 推進センターだより

FEBRUARY,  
2020

67  
号



国文祭・芸文祭  
みやざき2020に向けて

"こころ"のふれあうフェスタ2019



## content



こころのふれあうフェスタ2019 2P

こころのふれあうフェスタ2019作品展 3P

芸術の学校V o L 3 3P

国文祭・芸文祭みやざき2020の開催について 4P

令和元年度 宮崎の障がい者スポーツ 5P

宮崎県身体障害者相談センターからのお知らせ 8P

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ 7P

第6回手をつなぐ育成会全国大会に参加して 8P

「宮崎県難病団体連絡協議会」事業紹介 9.10P

「点訳・音訳ボランティア養成講習会」受講生募集 10P

障害者社会参加推進センターからのお知らせ 11P

## "こころ"のふれあうフェスタ2019

### ステージの部 16ステージ総勢112人のパフォーマンス



2019年10月14日にメディキット県民文化センターにおいて"こころ"のふれあうフェスタ2019を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、開演時間には多くの方が来場され、オープニングの書道パフォーマンスを堪能されました。

総勢16のステージパフォーマンスが繰り広げられる中、「緊張しています。」と言われていた方もステージ上では堂々としたパフォーマンスを披露され、来場者の方々を楽しませていただきました。

いよいよ来年は全国障害者芸術文化祭みやざき2020が開催されます。

(詳細はP4)

ぜひ、多くの方にご来場いただき、ステージを楽しんでいただきたいです。

国文祭・芸文祭みやざき2020アンバサダーに就任された「アルケミスト」のお二人によるスペシャルライブ。会場に入りきれないくらい多くの方に来ていただきました。アルケミストさんおなじみの曲に加え、みやざき大会のイメージソング「ひなたの真ん中で」も披露されました。



## CoCoFesMarket



メディキット県民文化ホール正面玄関前広場では、「ココフェス・マーケット」を開催。

ホール正面入口前広場では、障がい者福祉9事業所を含む14店舗の出店販売、似顔絵コーナー、仮装撮影スポット、付箋アート等の体験ブースもあり、多くの来場者で賑わいを見せました。

# "こころ"のふれあうフェスタ2019作品展

県内各地から

197点の作品が展覧されました。

11月27日(水)から12月1日(日)まで県立美術館 2階県民ギャラリーにおいて、宮崎県障がい者芸術文化支援センター主催による作品展が開催され、5日間で936名の方が来場されました。

また、27日のオープニングイベントでは、"うれしい""悲しい""知ってほしいなあ"の気持ちをお互いに伝え合う「スタッフもメンバーも家族も楽しむカイギ」、1日のクロージングイベントでは、パネルディスカッション形式の「アートと障がい者支援についてのトークイベント」が開催され、アート活動についてパネラーより意見が発表され、考えさせられるとても実りのある時間でした。



## 「芸術の学校VOL.3」(身体表現ワークショップ) "こころ"のふれあうフェスタ2019でパフォーマンスしました!

9月23日(月・祝)と29日(日)、透明体育館きらきら(宮崎市吉村町)にて、ともに学ぶ×おどる×アートする 身体表現ワークショップ「芸術の学校vo.3」※が開催され、元気いっぱい子どもたちが伸び伸びとパフォーマンスしました。

本番の"こころ"のふれあうフェスタ2019(10月14日開催)のステージパフォーマンスでは「Teamりらぼんてんこ」としてラストを飾っていただきました! 堂々としたパフォーマンス、かっこよかったです!

テーマは、  
"スカイダンサー"



※ H29から毎年開催。障がいのある児童・生徒さんが中心となって、「んまつーぽす」先生たちと楽しく"表現"するワークショップです。



練習「芸術の学校vol.3」ワークショップ



本番"こころ"のふれあうフェスタ2019  
ステージパフォーマンス(県立劇場)

## 国文祭・芸文祭みやざき 2020 の開催について

(第 35 回 国民文化祭・みやざき 2020、第 20 回 全国障害者芸術・文化祭みやざき大会)



国内最大規模の文化の祭典である国民文化祭と全国障害者・芸術文化祭が宮崎県で初めて今年 10 月 17 日から 12 月 6 日まで開催されます。県内全 26 市町村で音楽、演劇、美術など約 150 もの事業が予定されていますので、興味のあるものにぜひ参加してください！

## &lt;主な事業の紹介&gt;

## プレフェスティバル

**開催日** 令和 2 年 10 月 17 日(土)  
**場 所** 県庁周辺(本館前庭、楠並木通り等)  
**内 容** 宮崎の誇る「神話」「食」「文化」で大会を盛り上げる前夜祭



## 開会式

**開催日** 令和 2 年 10 月 18 日(日)  
**場 所** 宮崎市民文化ホール  
**内 容** 大会の幕開けを告げる「宮崎らしさ」を全面に出した舞台演出等



## (仮称) アート展

**開催日** 令和 2 年 10 月 13 日(火)  
～10 月 25 日(日)  
令和 2 年 11 月 25 日(水)  
～12 月 6 日(日)  
**場 所** 宮崎県立美術館  
**内 容** 県内外から障がい者アートを集めた作品展



※齋藤泉作『夢の中』

## アートフェスティバル

**開催日** 令和 2 年 10 月 25 日(日)  
**場 所** 宮崎市中心市街地  
**内 容** アートとパフォーマンスを融合したステージイベントなど、まちなかでのアートに親しむイベント



## わたぼうし宮崎コンサート 2020

**開催日** 令和 2 年 11 月 8 日(日)  
**場 所** メディキット県民文化センター  
**内 容** 障がいのある人とない人が詩と音楽で共につながるコンサート



## (仮称) 宮崎アーティストファイル「ギフト」

**開催日** 令和 2 年 11 月 14 日(土)  
～11 月 29 日(日)  
**場 所** 高鍋町美術館  
**内 容** 県内で地道にアート活動に取り組む作家に光を当てる作品展



※イメージ：高鍋町美術館 ガール展

## “こころ”のふれあうフェスタ 2020

**開催日** 令和 2 年 11 月 28 日(土)  
**場 所** メディキット県民文化センター  
**内 容** 障がいのある人を中心としたダンスや音楽などのステージ発表



## 演劇公演「みやざき県ゆかいアート村 秋の大収穫祭(仮)」

**開催日** 令和 2 年 12 月 5 日(土)  
**場 所** 都城市総合文化ホール  
**内 容** 障がいのある人とない人による、生きづらさを乗り越えた先の理想の世界を舞台にした演劇公演



## 閉会式

**開催日** 令和 2 年 12 月 6 日(日)  
**場 所** メディキット県民文化センター  
**内 容** 大会の締めくくりにふさわしい未来に向かってのメッセージを発信するステージ等



詳しくは、国文祭・芸文祭みやざき 2020 公式ホームページをご覧ください。



お問合せ先 第 35 回国民文化祭宮崎県実行委員会、第 20 回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局  
宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課 TEL：0985-26-7951

## 令和元年度 宮崎の障がい者スポーツ

宮崎県障がい者スポーツ協会

### 障がい者スポーツ教室（市町村対象）

9月2日、川南町を皮切りに県内16箇所、894人の障がいのある方々が、ボッチャ・アキュラシー・ディスクゲッター・オーバルボール・カローリング・スカットボール等のスポーツを体験されました。また、県内各地の公認障がい者スポーツ指導員の方々に、教室運営のサポートをしていただきました。

次年度も、9月から開催する予定なので、多くの方々とお会いできるのを楽しみにしています。



### 出 前 講 座

市町村を対象にしたスポーツ教室のほかにも、学校・施設などに協会職員や公認障がい者スポーツ指導員が出向き、スポーツの指導を行います。障がいのある人もない人も一緒にスポーツで汗を流しましょう。

次年度もたくさんの御応募をお待ちしています。日程・内容等につきましては、当協会に御相談ください。（TEL0985-27-7417）



<宮崎リハビリテーション学院>



<山田町>

### 障がい者スポーツ大会への選手派遣助成

当協会には、障がい者のスポーツ振興を図るため、障がい者スポーツ大会への派遣に対する助成金制度があります。

その対象は、全国障害者スポーツ大会の九州地区予選会及び全国大会相当の大会に出場に要する経費となります。県内で開催される大会は助成の対象外です。

### 障がい者スポーツ用具の無償貸出

当協会には、フライングディスク・アキュラシーゴール・ボッチャ（ボール）・カローリング・ディスクゲッター等、たくさんの障がい者スポーツ用具があります。詳細は当協会へお問合せください。（TEL0985-27-7417）

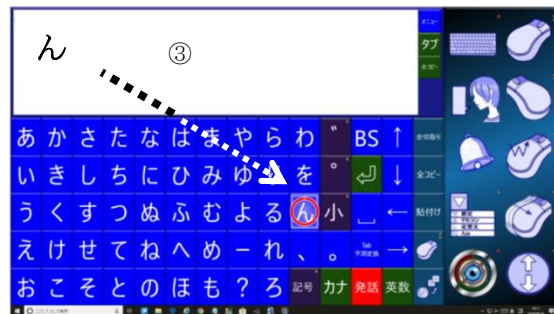
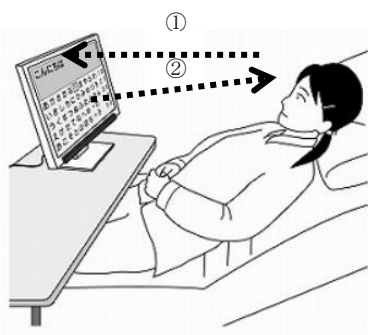
## 宮崎県身体障害者相談センターからのお知らせ

## 意思伝達装置のスイッチとして「視線入力」が補装具に加わりました

障がい者や難病患者の意思疎通を支援する情報通信技術の開発が急速に進んでいます。当事者の方は、声が出なくても、体が動かせなくても、伝えたい気持ちはあります。そんな思いを支援する補装具に重度障害者用意思伝達装置があります。

重度障害者用意思伝達装置には付属品のスイッチが必要で、従来は身体状況に応じて7種類の中から選択していましたが、新たに「視線入力」が加わりました。このスイッチにより、200ページにも及ぶ書籍を出版された筋萎縮性側索硬化症(ALS)の方もおられるようです。これまで以上に、当事者の方の気持ちが届きやすい世の中になれば良いですね。

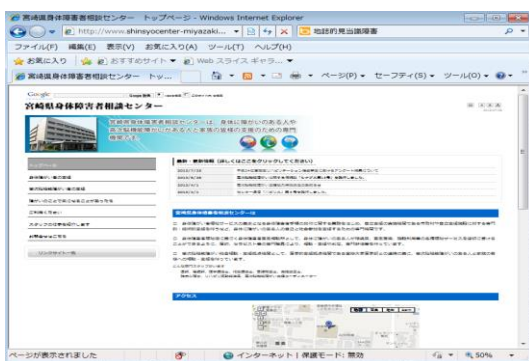
補装具の申請手続きは、お住まいの市町村にお尋ねください。



「視線入力」のイメージ

- ① 文字を目で追う
- ② センサーが目の動きを感知する
- ③ 「注視」して文字を選択する

## 身体障害者相談センターのホームページのご案内



当センターでは、ホームページで以下のような情報を提供しています。

(主な内容)

- ・ 身体障害者手帳について
- ・ 補装具について
- ・ 更生医療について
- ・ 高次脳機能障がい者の支援 など

URL は <http://www.shinsyocenter-miyazaki.com/> です。是非ご覧ください。

身障センター 宮崎

検索

## 宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

## ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・どこに相談したらよいかわからない

## 宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

※まずはお電話ください。

## 精神科医による診療相談のご案内

ご本人やご家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後2時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第2・4水曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	毎月2回 (不定期)	

※日程・時間は、医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

## こころの電話相談

月曜日~金曜日【午前9時~午後7時】

(祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

## 図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。  
※ホームページにパネル等を掲載しています。

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

アドレス <http://www.miya-seiren.com/>

カラダのゲンキはココロから。

## 宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <http://miyakoro.com>

## 家族教室のご案内

精神疾患(障がい)についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

## 家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

## 宮崎県精神保健福祉センター付近略図



## 交通のご案内

## 【宮崎駅から】

- タクシー：約10分
- バス利用：ボンベルタ橋前バス停まで徒歩10分  
ボンベルタ橋前バス停まで7番線(下北方行)で和知川原バス停下車徒歩5分  
又は8番線(平和台行)で花殿町バス停下車徒歩5分

## 宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

アドレス <http://www.seihocenter-miyazaki.com/>

## 宮崎県手をつなぐ育成会

## 第6回手をつなぐ育成会全国大会に参加して

1月23日から24日まで熊本市で開催された第6回手をつなぐ育成会全国大会に大会実行副委員長として参加してきました。会場は12月1日にこけら落とし予定の熊本城ホール、プレイベントとして熊本市長から承認を得たとのことでした。

大会当日は暖かい日差しの好天で受付終了後に各分科会が行われました。初



日5分科会、本人部会も4分科会が実施されました。2日目に式典と基調講演放送作家・脚本家の小山薫堂氏の「幸せの企画術」がメインホールで実施されて全ての日程が終了しました。

左は**受付会場**（2階）での本人大会受付の状況です。青い上着がスタッフです。約2500名の参加があり盛況でした。



広い建物でしたのでエスカレーターを利用しては方角がわからなくなり迷うほどでした。（右が**第3分科会会場**）

3階フロアで大会分科会育成会大会の第1から第5の4分科会が同時に実施されて本人大会の分科会も第1から第3までの分科会が同じフロアでした。（左は**本人大会第2分科会会場**）休憩時には廊下が参加者で一杯になる有様でした。宮崎からは高速バスで3時間40分かかり、遠いと感じました。（右は**式典が実施されたメ**

**インホール**）

メインホールは広い！1階だけで式典参加者を収容して2階は空席まだまだ余裕でした。

宮崎県手をつなぐ育成会 会長 大上 彰弘



青い上着が



## 宮崎県難病団体連絡協議会

## 「宮崎県難病団体連絡協議会」事業紹介

宮崎県難病団体連絡協議会（通称・難病連）は、原因不明・治療法未解決のいわゆる「難病」や長期慢性の病気、進行性の病気などの患者・障がい者とその家族の団体で構成する連帯組織です。

難病連は、それらの病気や障害の原因究明と治療法の早期確立を求め、患者・障がい者と家族が希望をもって明るい生活、より人間的な生涯を送ることができる社会を実現するために医療と福祉、社会保障の基本的な変革と発展を強く求めています。

原因不明で治療法も未確立のため、肉体的、精神的、啓示的また社会的に苦難な日々を余儀なくされている県内の難病患者とその家族は、個々の患者会組織では力も弱く、活動にも限界があるということから、もっと多くの仲間と手をつなぎ運動の拡大を目指そうと、宮崎県腎臓病協議会、心臓病の子供を守る会、腎炎ネフローゼ児を守る会の3団体が結集して昭和54年10月に発足しました。

その後、新たに加盟する患者団体が増えるなど、幾多の編成を繰り返しながら令和元年12月1日現在7団体（2団体休会中）約1,300名の患者・家族が会員になっています。

また本県は未組織の難病患者団体や苦難と不安の中で日々すごしている多くの患者達がい



るものと思われます。

そこで難病連として病気は違っても共に助け合い、支え合いを理念に、そして生きがいを認識できる多くの仲間の参画を呼び掛けています。

難病連の活動としては、4つの柱として①患者・家族対象の交流会（県内を巡回して実施）、②学習会、③医療講演会、④RDD（世界希少・難治性疾患の日）啓蒙活動を行っております。難病連発足当初は、県内持ち回りで移動相談会（医療・福祉・就労）、シンポジウム、加入団体持ち回りでピアサポート等を行っていましたが、平成17年9月より宮崎県から難病連が委託を受けて宮崎県難病相談・支援センターを運営する事になり、センターと住み分けをして、4つの活動を難病連は行うことになりました。

宮崎県難病相談支援センターは、難病患者等の日常生活の相談・支援、地域交流の促進及び就労支援を行う拠点施設です。なお、当センターは宮崎県難病対策協議会の一員で、難病患者皆さまの療養生活の質の維持・向上のため医療福祉関係者や行政担当等と協力し活動しています。（プライバシーは守られますので、患者さんご家族、支援者の方、どなたでもお気軽にご相談ください。）

**\*相談時間** 月曜日～金曜日 10:00～16:00  
（時間外は、メール、留守電、FAXでお受けします。）

## 宮崎県立視覚障害者センター

### 令和2年度「点訳・音訳ボランティア養成講習会」受講生募集

点訳とは、書籍や新聞などの活字を点字にすること、音訳は活字を読み上げ正確な情報を伝えることを指します。どちらも、目での読書が困難な方を支える、とても大切な作業です。

1年間で点訳もしくは音訳の基礎を学んでいただき、その後活動していただける方を募集しております。

【対象】①講習修了後にボランティア活動が可能な人

②点訳についてはパソコンを持参できる人、音訳についてはパソコンの操作ができる人。

（点訳・音訳どちらもパソコン作業を伴います）

【講習期間】令和2年5月～令和3年3月 13:30～15:30

点訳…毎月第2・第4火曜日 音訳…毎月第1・第3金曜日

【場所】県立視覚障害者センター（宮崎市江平西2丁目1番20号1階）

【受講料】無料（ただし、テキスト代は実費負担）

【申込】3月31日（火）までに希望する講座名、氏名、住所、電話番号を明記の上、電話またはFAXで県立視覚障害者センターへお申込みください。



※事前説明会を点訳は4月14日（火）、音訳は4月10日（金）いずれも13:30から同センターにて開催します。事前にお申込みのうえ、ご参加ください。

【問い合わせ先】

〒880-0051 宮崎市江平西2丁目1番20号1階

宮崎県立視覚障害者センター 担当：重永（しげなが）

電話 0985(22)5670、FAX 0985(38)8730 ※水曜・祝日は休館日です

## 宮崎県障害者社会参加推進センター

障がい者差別解消に  
関する地域別・体験イベントの開催

障害者差別解消法及び県条例を広く県民に普及啓発するため、県内3箇所で体験イベントを実施し、盲導犬体験と手話体験（延岡地区のみ）を行いました。

多くの方が盲導犬とふれあったり、盲導犬体験をされ、また手話体験のコーナーでは、カルタやゲームが用意され、親子連れなど楽しんで手話を体験されていました。

アンケートでは、「それぞれの困ったことに合った手助けができればと思う。」「びっくりさせないように声をかけて、希望を聞き対応していきたい。」等、困っていたら声をかけてあげたいという回答が多く、障がいのある方について考えるきっかけになってもらったのではないかと感じました。

延岡地区：11月2日（土）「九保祭」



宮崎地区：11月3日（日）  
「みやざき健康ふくしまつり」



都城地区：2月2日（日）  
「みやこんじょボランティアフェスティバル」

## 「障害者週間」啓発活動の実施

12月3日から9日までの「障害者週間」の啓発活動をイオンモール宮崎で行いました。みやざき犬のむうちゃんと一緒に、県内福祉施設で製作されたクッキーなどを配布して障害者週間の啓発を行いました。



## 相談窓口のご案内

## 障がい者差別相談窓口

障がいのある人やその家族からの障がいを理由とする不利益な取扱いなどに関する相談に対応します。

◇月～金曜日 午前9時～午後5時

☎(0985)23-3388

FAX(0985)55-0258

MAIL: s-soudan@aroma.ocn.ne.jp

## 障がい者110番

人権及び権利の擁護に関する相談に対応します。

◇月～金曜日 午前9時～午後5時

☎(0985)26-3040

第34回障害者による書道・写真全国コンテスト銅賞に宮崎県から3作品が入賞しました。おめでとうございます。

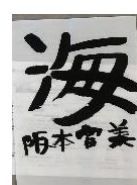
(全国から804点、宮崎から43点の応募がありました。)



「岩」  
石見遥菜さん



「星」  
谷口正弘さん



「海」  
阪本富美恵さん

## 【発行】

宮崎県障害者社会参加推進センター 〒880-0007 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター本館4階